

学校法人三幸学園  
東京医療秘書福祉専門学校  
校長 増田 泰朗 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 小峰 俊一

## 学校関係者評価委員会実施報告

平成30年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 小峰 俊一 (青梅市立総合病院 経営企画課長)
- ② 橋本 敦 (戸田中央医科グループ 事務長/全国医事研究会 理事)
- ③ 千葉 真一 (三井記念病院 リレーション部 シニアマネージャー)
- ④ 田中 竜 (永寿総合病院 人事課兼総務課課長)
- ⑤ 渡邊 剛一 (日本医療事務協会)
- ⑥ 松縄 和彦 (社会福祉法人三幸福社会 理事)
- ⑦ 川口 一美 (聖徳大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授)
- ⑧ 島田 貴司 (飛鳥未来さずな高校 お茶の水キャンパス キャンパス長)
- ⑨ 平田 由美 (在校生保護者委員 診療情報管理士科)
- ⑩ 野澤 柚衣香 (卒業生委員 三井記念病院)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和元年6月21日 (会場 東京医療秘書福祉専門学校 本館601教室)

#### 3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2018年度 学校法人 三幸学園 東京医療秘書福祉専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 高橋 夕子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 小峰 俊一

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療・福祉分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理・介護福祉を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療・福祉分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

「技能と心の調和」という教育理念のもと、人材育成を行ってきた。相手のこうしてほしいを理解し、動ける人材になるために、日々の学校生活ではチャレンジの機会を設け、ひとりひとりにあった成功体験を積めるよう取り組んできた。

就職については、ダブルフォロー（担任と地域担当）体制による就職サポートをしてきたが、卒業時に未就職者がいたため早期からの就職への意識づけを行い、主体的な就職活動の支援を行なっていく。

教務については、退学率は増加。精皆勤率は下がってしまった。学校に通う意味、価値を伝え続け、生徒の細かな変化に気づけるよう指導育成力を向上、及び授業力の向上も図っていく。

広報については、学校のファンを増やせるよう、日ごろの教務や就職支援体制が進学希望者に伝わるよう連動を意識していく。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

特になし

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

- ・学校としてニーズをつかむ体制を整えていく必要がある。
- ・学校の理念等の周知はほぼ出来ているが、より高い実現のための対策検討が必要である。
- ・単年での育成計画となり、目先の課題に対する目標になっていた。(診療情報管理士科)
- ・学科の教育目標等は方向づけられているが、方策が至らないことがある(医療秘書科、介護福祉科)

#### ② 今後の改善方策

- ・各業界への訪問強化とともに、学校内での意見交換会の実施。
- ・上記を実施した後、各授業や保護者通信等で発信。
- ・学科として3年間の育成計画を立て、その計画からその学年ごとの目標を設定していく。(診療情報管理士科)
- ・方策について計画、目的、達成目標、方法を明確にして振り返り、修正を行っていく(医療秘書科、介護福祉科)

#### ③ 特記事項

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・社会のニーズをつかむことは重要だが、在校生や今後入学してくる学生のニーズや特徴をつかんで教育へ反映させていくことも重要と考える(千葉委員)
- ・診療情報管理士科、医療秘書科、介護福祉科の課題に対して、理念をしっかりと浸透させ、どういった方策をとるかを考えてはどうか  
(橋本委員:診療情報管理士科、医療秘書科、介護福祉科に対して)

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

- ・コンプライアンス体制の整備が完全ではない。
- ・情報システム化(教職員向けの共有フォルダ・ポータルサイトの設置)による環境設定はできているが、活用が不十分であり、業務効率が十分には図れていない。

### ② 今後の改善方策

- ・コンプライアンス意識教育の実施及び定期的な研修の実施をする。
- ・情報システム活用のマニュアル化や研修を実施し、個人業務効率の向上を目指したい。

### ③ 特記事項

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

評価が「3」の項目については重点的に取り組んでいくことは必要であるが、評価が「4」の項目について、更に向上するにはどうしたらよいかを考えることでより良い教育や学校運営につながるのではないか(小峰委員)

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

- ・教育方法の工夫や開発はされているが、効率よく使用できていない。
- ・関連分野に対する教員の質向上
- ・教科間の学びの結びつきや連携が不透明である（医療秘書科）
- ・認定科目と学園オリジナル教科の連携が取れていない（診療情報管理士科）
- ・業界のニーズを理解すること（介護福祉科）

#### ② 今後の改善方策

- ・今ある教育道具の活用方法を全教員で検討し、実施する
- ・授業内容のすり合わせができるクラス会、学科会などを設けて情報共有を図る（医療秘書科）
- ・教員の関連分野に関する講話や研修の実施を検討する
- ・認定科目と学園オリジナル教科の関連が分かる一覧を作成し、それを元に授業計画を立てる（診療情報管理士科）
- ・教員が業界のニーズを理解できるように訪問、ボランティア参加を強化する（介護福祉科）

#### ③ 特記事項

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・情報共有するだけでなく、どのように活かすかまで考えてほしい（千葉委員：医療秘書科に対して）
- ・教員の熱意を感じる。生徒にしっかりと伝わるように授業計画を立ててほしい（田中委員：診療情報管理士科に対して）
- ・施設で教員のボランティア受け入れは問題ない。生徒に伝えることで、より現場をイメージすることにつながるのではないかと（松縄委員：介護福祉科に対して）
- ・在学中はしっかりと教育を受けられていると感じていた。教員の関りが印象に残っている（野澤委員）

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

・退学率の大幅な悪化

(退学率:医療秘書科 8.4%の悪化、診療情報管理士科 2.6%の悪化介護福祉科 11.8%の悪化)

・就職率の低下(医療秘書科、診療情報管理士科)

・卒業後、就業の定着

##### ② 今後の改善方策

・学んでいる内容が就職後のキャリア形成に繋がることを理解できるように実習や課外活動を活用する

・授業で検定取得だけでなく、社会人像、職業像の理解もできるように業界関係者や卒業生からの講話を行う(医療秘書科、診療情報管理科、介護福祉科)

・行事や実習以外の現場体験を通して社会人基礎力(感情制御力、行動持続力、自信創出力など)を強化する(介護福祉科)

##### ③ 特記事項

##### ③ 学校関係者評価委員会コメント

・志を持って、入学してきたにもかかわらず退学するのはとても残念なことである。理由や退学率など姉妹校や他の専門学校と比較すると何かヒントがあるかもしれない(千葉委員)

・就職に対しての意気込みや職種の理解度など、生徒の現状を把握することで就職率向上への方策が考えられるのではないか(橋本委員:診療情報管理士科について)

・就職後の離職率については大学生のほうが高い(千葉委員)

## (5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

### ① 課題

- ・課外活動指導の強化
- ・卒業生へのキャリア支援強化
- ・学生支援において教員の対応・指導力に差がある(診療情報管理科について)
- ・実習以外に業界を知る機会が少ない(医療秘書科)

### ② 今後の改善方策

- ・課外活動担当教員が現場理解を深めるための研修会、実習の実施が必要である
- ・三幸学園キャリアサポートセンターの有効活用、現状把握
- ・教員向けの研修会(成功事例等の共有)を定期的実施(診療情報管理士科)
- ・病院ボランティアなど、業界を知る機会の設定、告知(医療秘書科)

### ③ 特記事項

#### ③ 学校関係者評価委員会コメント

- ・教員の指導力は確かに重要ではあるが、学生たちのやる気も重要ではないか。うまく引き出す方法を考えてほしい  
(平田委員:診療情報管理士科に対して)
- ・医療機関の求人を出すタイミングが早くなっている。しっかりと準備ができるように課外活動の強化や1年次に実習を行うことで学生の職業理解につながるのではないかと(橋本委員:医療秘書科に対して)
- ・病院のボランティアは募集している。授業の兼ね合いで平日の実施が難しい場合は土曜日などに行われる行事を活用してはどうか(千葉委員:医療秘書科に対して)

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

### ① 課題

・実習施設が十分ではない(診療情報管理士科)

### ② 今後の改善方策

・姉妹校との情報共有(診療情報管理士科)

・実習施設の開拓・訪問を強化し、関係性の構築を図る(診療情報管理士科)

### ③ 特記事項

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・規模の大きい医療機関のほうが実習を受け入れる体制が整っている可能性が高い。病床数や部署など情報収集してから依頼をしてはどうか(小峰委員:診療情報管理士科に対して)

・診療情報管理士の実習を受け入れる体制がない病院が多いことが現状と考えられる(橋本委員)



## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ①課題

- ・医療事務や介護福祉士の資格取得を目指す他校との差別化。
- ・在校生スタッフの育成。

### ②今後の改善方策

- ・オープンキャンパス参加者(医療事務や介護福祉士を目指す方)のニーズの把握。
- ・在校生スタッフへの研修の質の向上。目的意識の醸成。

### ③ 特記事項

### ④学校関係者評価委員会コメント

- ・在校生スタッフについて選ばれた責任感を持つことができるような取り組みを行ってはどうか(田中委員)
- ・やる気のある在校生スタッフがいることで学校の良い雰囲気がオープンキャンパス参加者に伝わると思うので育成に努めてほしい(千葉委員)

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

一昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

#### 【委員コメント】

・特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

・更なる法令尊種の推進

### ② 今後の改善方策

・研修や掲示物を活用して教職員の法令順守に対する理解、浸透に努める

### ③ 特記事項

・2014 年度より、私立専門学校等評価研究機構の評価基準に従って点検・評価を行い、結果を報告している。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

- ・ボランティア活動の活性化を図る
- ・地域貢献活動の周知

### ② 今後の改善方策

- ・ボランティア活動の意義や必要性を周知する
- ・町内会活動への協力
- ・掲示板を活用しボランティア活動の告知する

### ③ 特記事項

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ボランティアを通じて、職種の理解やコミュニケーション能力の向上など学生にとってのメリットも多くあると考える。  
カリキュラム等に配慮できるのであれば積極的な参加を促してはどうか（橋本委員）

## (11)国際交流

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

### ① 課題

- ・留学生の積極的な受け入れ
- ・留学生に対する語学フォローの仕組み

### ② 今後の改善方策

- ・姉妹校との情報共有
- ・日本語学校との具体的な連携に関する仕組みづくり
- ・実習先の確保

### ③ 特記事項

- ・2018年度の留学についての状況  
介護福祉科1名、診療情報管理士科1名、歯科アシスタント科1名の留学生が在籍

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・外国人労働者の受け入れを行っている医療機関もみられてきている(千葉委員:医療秘書科に対して)
- ・外国人労働者の受け入れは年々、増えている。受け入れに積極的な法人と外国人労働者を受け入れている施設の動向をうかがっている法人に分かれているように思える(松縄委員:介護福祉科について)

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・2018年度の自己評価の報告に対して、委員の方々から承認をいただいた。
- ・2019年度の目標として引き続き、教育理念である「技能と心の調和」を念頭に教育や人材育成を行っていく。  
これまでの教育にプラスして今の学生たちの状況を踏まえて現場で活かせる知識や技術の提供について強化していく。
- ・学習成果の目標数値として皆精勤率 50%以上、退学率 4.5%以内、就職率 100%を設定した。

以上